

英語

入試方式		一般A		一般B	入試方式	一般C															
試験日		1/20		1/21	2/8 <th colspan="2">試験日</th> <td colspan="12">2/28</td>	試験日		2/28													
問題掲載頁		P.79 ┆ P.81		P.81 ┆ P.84	P.84 ┆ P.86	問題掲載頁		P.87～88													
解説掲載頁		P.147		P.148	—	解説掲載頁		—													
解答 番号	1	④	②	③	I	問1	営業時間	(1)	(a)	(2)	(c)	(3)	(e)	(4)	(g)						
	2	④	②	①			特徴	(5)	(c)(e)	(6)	(b)(f)	(7)	(a)(d)								
	3	②	④	④			問2	(1)	(b)	(2)	(a)	(3)	(c)	(4)	(a)	(5)	(b)				
	4	③	③	③		問3		(1)	F	(2)	T	(3)	F	(4)	T	(5)	F				
	5	①	④	①			(6)	F	(7)	F	(8)	F									
	6	③	③	②	II	問1	(A)	(イ)	(B)	(ア)	(C)	(ウ)									
	7	①	②	②		問2	我々は、多くの夢をみてそのほとんどを忘れるが、夢の中で起こったことが実際に起こったときだけ覚えているから、それを正夢だと考えている。														
	8	④	④	①			問3	一つ目の考えとは、夢は、望ましくないことや、起きているときには考える必要もない我々の潜在意識にあるものであるというものであり、もうひとつの考えとは、我々は眠っているときにその日の考えや記憶を整理するが、夢はそうしたバラバラの思いであり、目が覚めているときに、それをもとにまとまった物語を作ろうとするという考えである。													
	9	③	③	①		問4		空を飛んでいる夢は、ワクワクするような新しい仕事の表象（シンボル）である。													
	10	④	④	③				問5	目覚めるとすぐに、夢について覚えていることを紙とペンで全て書き留めるとよい。スマートフォンやコンピューターでは完全に目が覚めてしまったり、すぐに忘れてしまうからである。												
	11	①	①	③					III	問1	kosei	意見									
	12	②	②	④								Yun	宿題には賛成である。学習計画を立てることができない学習者は何をしたらよいかわからないため、宿題をしておきさえすれば良い。成績にも好影響である。また、することがわからないとSNSなど他のことに時間を使ってしまう。								
	13	②	③	①			Chen						宿題は禁止すべきである。宿題はストレスのもとになったり、宿題のために全ての時間が奪われて本当に勉強したいことができなくなってしまう。また両親から宿題をするよう言われるのもストレスである。自由に学ぶ時間が欲しい。								
	14	①	⑨	②		Kim							宿題には反対である。子どもたちは学校や塾など学校に関係することでほとんどの時間を費やしている。学校や勉強と関係のないもっと自由な時間を持たせる必要がある。								
	15	①	④	⑨				問2					(97語) I think homework should be banned. I have two reasons to support my idea. First, homework takes our precious time away. We need more time to use for ourselves.We should think about how to use our time by ourselves. I know it is not easy for us to manage our time, but it is a good experience for our future. Second, I don't think that homework itself helps our learning a lot. We have to do many drill activities and they are very boring. I like to do more productive activities. Teachers should stop time-consuming homework.								
	16	⑥	⑦	⑥		Kim															
	17	②	①	②																	
	18	⑧	⑤	⑧																	
	19	⑤	⑧	③																	
	20	④	④	②																	
	21	③	②	③																	
	22	③	③	④																	
	23	①	②	③																	
	24	②	④	②																	
	25	①	②	③																	
	26	④	⑦	④																	
	27	②	④	②																	
	28	①	④	①																	
	29	⑤	②	⑥																	
	30	⑧	⑧	⑥																	
	31	⑤	①	⑤																	
	32	⑥																			
	33																				
	34																				
	35																				
	36																				
	37																				
	38																				
	39																				
	40																				
	41																				
	42																				
	43																				
	44																				

				数 学			国 語					
入試方式		一般A		一般B	一般A		一般B	入試方式		一般C		
試験日		1/20	1/21	2/8	1/20	1/21	2/8	試験日		2/28		
問題掲載頁		P.89	P.90	P.91	P.92 ∪ P.96	P.97 ∪ P.101	P.101 P.105	問題掲載頁		P.106 ∪ P.109		
解説掲載頁		P.149	P.150	——	P.151	P.152	——	解説掲載頁		——		
解答 番号	1	④	①	⑦	②	⑤	④	第1問	問一	01	②	
	2	②	①	⑥	①	①	③			02	①	
	3	④	①	②	③	③	①			03	⑤	
	4	②	⑦	②	②	④	②		問二	04	③	
	5	④	①	⑨	④	⑤	①			05	③	
	6	⑦	①	①	④	④	②		問四	06	①	
	7	①	⑦	①	①	⑤	⑤			07	⑥	
	8	⑦	④	⑨	③	③	③		問五	08	確かにナチスドイツの政策は失業率を下げ、一九三二年の32%から一九三九年の2.9%となっている。しかし、統計には女性や主婦が含まれていない上、ユダヤ人や障害者の虐殺が背景にあり、ボランティアもアウトバーン建設など公共事業に投入されていた。	
	9	⑥	①	②	⑤	①	③					
	10	①	②	①	⑤	①	④					
	11	②	①	③	②	⑤	②					
	12	②	⑦	①	③	④	③					
	13	④	③	⑦	④	④	②・④					
	14	①	⑦	⑥	①	②						
	15	⑧	②	④	②	③	⑤		問六	09	③	
	16	⑥	⑥	⑥	③	④	④			10	④	
	17	②	①	②	⑤	②	②	問1	11	②		
	18	⑥	⑤	⑦	④	②	③			12	③	
	19	①	①	⑤	②	①	②			13	①	
	20	⑦	②	①	②	⑤	②			14	②	
	21	①	①	⑦	④	③	④			15	④	
	22	⑦	②	①	②	⑤	③	問2	16	③		
	23	⑤	②	③	①	④	④		17	①		
	24	②	②	②	①	③	①	問3	18	②		
	25	②	③	①	③	②	③		19	②		
	26	②	⑧	⑦	④	⑤	③		20	②		
	27	⑦	⑧	⑦	③	③	③		21	①		
	28	⑦	③	②	④	②	②	第2問	問4	22	豊かで平和な戦後社会の中で「民」が国や自治体の公共サービスに慣れ切り、共助の精神が希薄になったため	
	29	②	①	⑤	①	①	④					
	30	②	③	②	③	④	③		問5	23	私は強く共感する。なぜなら、社会には色々な境遇の人がおり、様々な事故や災害、病気に見舞われたとき、お互いに助け合える社会がよいと思うからだ。現実、公助はあっても、細かい援助までは難しく、「助け合いにあふれている」とまでは言えないと思う。自助でできる部分は個人による差が大きく、不確実だと思うので、その間を埋める共助はとても大切だと思う。共助を社会でもっと育てていく努力が必要だと感じた。	
	31	⑨	⑨	①	①	③	①					
	32	⑦	⑧	④	④	②	②					
	33	⑨	⑨	④								
	34	①	⑥	⑦								
	35	③	①	①								
	36	⑨	⑤	④								
	37	⑦	①	⑦								
	38	⑥	②	①								
	39	⑨	①	①								
	40		⑥	②								
	41		④									
	42		②									
	43		⑥									
	44		②									

□は、「理科基礎」で出題された問題の答えになります。
()は解答番号です。

		化 学						生 物						日本史	
入試方式		一般A		一般B	一般A		一般B	入試方式		一般C		一般A			
試験日		1/20	1/21	2/8	1/20	1/21	2/8	試験日		2/28		1/20	1/21		
問題掲載頁		P.110 P.113	P.113 P.116	P.116 P.120	P.121 P.125	P.126 P.130	P.131 P.136	問題掲載頁		P.136 P.137		P.138 P.140	P.141 P.143		
解説掲載頁		P.153	P.154	——	P.155	P.156	——	解説掲載頁		——		P.157	P.158		
解答番号	1	③(1)	②(1)	⑤(1)	②(15)	④(15)	②(15)	第1問	問1	ア	光合成	③	④		
	2	⑤(2)	④(2)	⑤(2)	⑥(16)	⑧(16)	③(16)			イ	ATP	③	②		
	3	⑤(3)	④(3)	⑥(3)	④(17)	①(17)	④(17)			ウ	呼吸	④	①		
	4	③(4)	⑧(4)	①(4)	③(18)	②(18)	⑤(18)		エ	酸素	②	③			
	5	③(5)	④(5)	①(5)	②(19)	③(19)	⑥(19)		問2	A	光	④	④		
	6	②(6)	⑦(6)	②(6)	④(20)	①(20)	③(20)			B	化学	①	③		
	7	③(7)	②(7)	③(7)	③(21)	④(21)	④(21)			C	化学	①	②		
	8	④(8)	③(8)	③(8)	⑦(22)	③(22)	⑤(22)			D	化学				
	9	⑥(9)	③(9)	②(9)	④(23)	①(23)	①(23)		問3	細胞質内（解糖系）で行われる発酵によりATP（エネルギー）を獲得している。		⑤	③		
	10	⑤(10)	④(10)	④(10)	①(24)	①(24)	④(24)	第2問	問1	ア	血しょう	④	②		
	11	②(11)	②(11)	⑨(11)	⑦(25)	③・⑤	②(25)			イ	毛細	③	④		
	12	④(12)	②(12)	⑦(12)	⑤(26)	②⑤・②⑥	③(26)			ウ	閉鎖	④	①		
	13	⑤(13)	①(13)	⑧(13)	②(27)	③(27)	①(27)		問2	赤血球 白血球 血小板		①	②		
	14	①(14)	④(14)	③(14)	④(28)	④(28)	④(28)		問3	b.c		③	③		
	15	④	④	②	⑥(29)	②(29)	②(29)		問4	①	肺循環	②	①		
	16	②	②	①	⑤(30)	②(30)	③(30)			②	体循環	③	①		
	17	③	④	②	⑤(31)	①(31)	②(31)		問5	組織に酸素や栄養分を届け、二酸化炭素と老廃物を受け取る。		①	③		
	18	⑥	④	①	④(32)	②(32)	④(32)	第3問	問1	ア	分解者	③	②		
	19	②	①	①	①	③	④			イ	独立	②	③		
	20	③	①	④	⑤	①	③			ウ	従属	③	④		
	21	⑤	③	②	③	④	②			エ	食物連鎖	①	①		
	22	②	⑤	③	③	③	②		問2	水		④	②		
	23	⑤	④	⑦	①	③	④		問3	生態ピラミッド		②	③		
	24	①	①	⑤	②	⑥	③		問4	環境形成作用（反作用）		①	①		
	25	⑧	④	⑤	②	③	④		第4問	問1	A,B,E		④	④	
	26	⑥	③	⑤	④	④	②			問2	E		②	③	
	27	②	①	⑧	③	④	②	問3		B,E		③	①		
	28	①	③	⑤	①	③	②	問4		A		④	④		
	29	⑥			①	④	④	問5		6CO ₂ +12H ₂ S→C ₆ H ₁₂ O ₆ +12S+6H ₂ O		②	③		
	30				④	④	②	問6		緑色硫黄細菌 紅色硫黄細菌		⑥	③		
	31				③	⑨	⑥	第5問	問7	光合成は光エネルギーを利用するのに対し、化学合成は無機物を酸化したときに得られる化学エネルギーを利用して炭酸同化を行う。		④	②		
	32				⑤	⑧	②			問1	第一分裂期	⑤	③	②	
	33				⑦	①	⑤			第二分裂期	⑥	①	④		
	34				③	③	②	問2	③		③	①			
	35				②	⑤	①		問3	(1)	8通り	②	③		
	36				⑥	⑨	③	第6問	問1	(2)	2通り	④	②		
	37				⑦	⑥				ア	脳梁	①	①		
	38				⑧					イ	灰白質	⑤	⑥		
	39									ウ	白質				
	40							問2	エ	辺縁、辺縁系、辺縁皮質					
	41								①	部位 d 名称	小脳				
	42								②	部位 b 名称	間脳				
	43								③	部位 e 名称	延髄				
	44							④	部位 c 名称	中脳					
							問3	大脳と脊髄を結ぶ運動に関する神経が延髄で交差しているため、左脳に障害が生じた時は右半身に麻痺が生じる。							